

平成24年度 地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター 業務実績評価（案） 新旧対照表

資料 2

1 全体評価

項目	修正案	修正前（7月25日分科会）	修正理由
1 総評			
	（略）技術相談、依頼試験、機器利用で過去最高の中小企業支援の実績を上げた。	（略）技術相談や依頼試験等、過去最高の中小企業支援の実績を上げた。	より適切な表現とするための修正 機器利用サービスも過去最高の件数
	複数の研究分野を横断した（略）「実証試験セクター」は、中小企業の製品化の実現に大きく貢献しており、独自のライセンス制度の充実やオンライン予約の導入等、利便性向上につなげる工夫も行っている。	複数の研究分野を横断した（略）「実証試験セクター」は、独自のライセンス制度の充実等、省力化、高効率化につながる工夫により実績を大きく伸ばし、製品化の実現に大きく貢献した。	前回の分科会の指摘を受けての修正 技術的な面での貢献を前面に出した修正 事実確認による回答を受けての修正
	近隣他県の公設試験研究機関と共同で「広域首都圏輸出製品技術支援センター」を主導的かつ順調に立ち上げ、（略）	近隣他県の公設試験研究機関と共同で「広域首都圏輸出製品技術支援センター」を順調に立ち上げ、（略）	より適切な表現とするための修正 計画立案から運営まで、都産技研が主体的に実施
	（略）EMC分野において全国公設試験研究機関で初めてISOに定める試験所への適合が認定され、限られた人員の中、（略）	（略）EMC分野において全国公設試験研究機関で初めてISO/IEC17025試験所認定を取得しており、限られた人員の中、（略）	前回の分科会の指摘を受けての修正
	今後は、研究開発と、研究成果を反映する特許出願や特許使用許諾へのさらなる取組が望まれる。	今後は、研究開発と、研究成果を反映する特許等の出願へのさらなる取組が望まれる。	文章の意味を明確化するための修正
	新本部の本格稼働や認知度向上に伴う支援ニーズの高まりの中、研究事業や直接的な中小企業支援への人的資源のより効果的な配分等を期待したい。	新本部の本格稼働や認知度向上に伴う支援ニーズの高まりの中、研究事業や直接的な中小企業支援への人的資源のさらなる適正配置を期待する。	文章の意味を明確化するための修正
	また、中小企業の新たなビジネスチャンスの創出につなげるため、今後の広域首都圏輸出製品技術支援センターによる着実な支援、さらには、区市町村との協定の活用や、東京都中小企業振興公社との一層の連携推進を期待したい。	また、広域首都圏輸出製品技術支援センターによる今後の着実な支援、さらには、区市町村との協定を活かし、東京都中小企業振興公社との連携も一層推進し、中小企業の新たなビジネスチャンスの創出につなげることを期待する。	文章の意味を明確化するための修正
2 中小企業への技術支援・研究開発及び法人の業務運営等について			
技術支援	平成24年度は、技術相談や依頼試験、機器利用で過去最高の中小企業支援の実績を上げた。	平成24年度は、技術相談や依頼試験等、中小企業への技術支援で過去最高の実績を上げた。	より適切な表現とするための修正
	（略）依頼試験では防かび等、他県公設試験研究機関で対応が困難な試験を前面に掲げてPRする等、（略）	（略）依頼試験では防かび等、他県公設試で対応が困難な試験を前面に掲げてPRする等、（略）	文章の意味を明確化するための修正
	（略）高度分析開発セクターは、利用者が自由に操作可能なライセンス制度対象機器の拡充等により、製品開発500件と優れた成果を上げた。	（略）高度分析開発セクターは、利用者が自由に操作可能なライセンス制度対象機器の増設等により、製品開発500件と優れた成果を上げた。	より適切な表現とするための修正
	環境試験に必要な設備を集め、試作品の効率的な試験が可能な実証試験セクターや、デザインを活用した製品開発を総合的に支援するシステムデザインセクターは実績を大きく伸ばすとともに、機器のオンライン予約の導入、ニーズの高い高速造形機（3Dプリンター）の増設等、利便性の向上にも取り組んでいる。	環境試験に必要な設備を集め、試作品の効率的な試験が可能な実証試験セクターは、ホームページから利用予約を可能にする等、利便性を高める工夫を行い、実績を大きく伸ばしている。	前回の分科会の指摘を受けての修正

項目	修正案	修正前（7月25日分科会）	修正理由
技術支援	(略) センター全体では、技術相談で前年度比17%増、依頼試験で同30%増、機器利用で同31%増と、実績を大きく向上させた。	(略) センター全体では、技術相談で前年度比17%増、依頼試験で同30%増と、実績を大きく向上させた。	より適切な表現とするための修正
	中小企業の製品開発において設計段階から支援を行うオーダーメイド開発支援は、前年度比58%増の301件と <u>伸びており</u> 、高度化・多様化するニーズへのきめ細かな対応を拡大させている。 <u>今後、ユーザーニーズのより正確な把握による利用者満足度のさらなる向上を期待したい。</u>	中小企業の製品開発において設計段階から支援を行うオーダーメイド開発支援は、前年度比58%増の301件と <u>急伸び</u> しており、高度化・多様化するニーズへのきめ細かな対応を拡大させている <u>一方、少数ではあるが利用者から見た満足度が低い案件もあり、今後の改善に期待する。</u>	より適切な表現とするための修正
	知的財産については、出願、登録等、 <u>増加傾向にあり、中期計画の達成に向けて着実に取り組んでいる。</u>	知的財産については、出願、登録等、 <u>ほぼ前年度並みを確保した。</u>	より適切な表現とするための修正 いずれも増加傾向のため 確定した個別評価を踏まえた修正(評定B)
他機関との連携の推進	今後は、 <u>中小企業の新たなビジネスチャンスの創出という目に見える成果につなげるため、これらの協定の活用や、東京都中小企業振興公社との密な連携によるさらなる事業の展開に期待したい。</u>	今後は、 <u>東京都中小企業振興公社とも密に連携し、これらの協定を活用してさらなる事業展開を図る等により、中小企業の新たなビジネスチャンスの創出という目に見える成果の顕れに期待したい。</u>	文章の意味を明確化するための修正
研究開発	中小企業等との共同研究や <u>科研費等の提案公募型研究の件数も前年度並みの水準を確保している。</u> 今後 <u>も、科研費補助金申請団体の要件確保等、引き続き研究開発への一層の取組に期待したい。</u>	中小企業等との共同研究や <u>提案公募型研究の件数も前年度並みの水準を確保しており、評価できる。</u> 今後、 <u>科研費補助金申請団体としての要件確保等、研究開発への一層の取組を期待する。</u>	より適切な表現とするための修正 科研費補助金申請団体の要件は確保されていることの明確化
産業人材の育成	(略) これまでの <u>評価委員会の指摘を踏まえたサービス産業等のニーズに対応したセミナーを拡充するとともに、</u> (略)	(略) これまでの <u>分科会の指摘を踏まえたサービス産業等のニーズに対応したセミナーを継続開催するとともに、</u> (略)	より適切な表現とするための修正 サービス産業向けセミナーの開催実績の増加
	これらのセミナーの <u>受講者の9割が内容に満足していること、評価の低い講座の見直しに即取り組んでいることは高く評価できる。</u>	これらのセミナーの利用者の <u>7割から高い満足度を得ていることは高く評価できる。</u>	前回の分科会の指摘を受けての修正
	今後、 <u>大学等からの学生の受入れにおいては、ものづくりに興味を持った人材育成につながる取組を引き続き行うとともに、大学や業界団体への講師派遣等、関係機関との連携を一層進めて人材育成に寄与していくことを期待したい。</u>	今後、 <u>大学等からの学生の受入れにおいては、ものづくりに興味を持った人材育成につながる工夫や、大学や業界団体への講師派遣等、関係機関との連携を一層進めて人材育成に寄与していくことを期待したい。</u>	事実確認による回答を踏まえた修正
情報発信・情報提供	平成24年度は、 <u>各種展示会への積極的な出展に加え、(略)、センターの認知度も前回調査結果から向上しており評価できる。</u>	平成24年度は、 <u>各種展示会への積極的な出展に加え、(略)、センターの認知度も前回調査結果から向上しており高く評価できる。</u>	前回の分科会の指摘を受けての修正
	<u>今後、展示会の来場者を都産技研の新規利用につなげる等、これまでの取組を一層推進し、出展効果をさらに高めていくことを期待したい。</u>	<u>今後は、例えば展示会の来場者情報をより詳細に分析し、都産技研の利用につなげる等、出展効果を高めるさらなる工夫も期待したい。</u>	事実確認による回答を踏まえた修正
法人の業務運営	とりわけ、 <u>事業別セグメント管理については、研究事業や直接的な中小企業支援への人的資源のより効果的な配分等、今後の法人経営の基盤としてさらなる活用を期待したい。</u>	とりわけ、 <u>事業別セグメント管理については、研究事業や直接的な中小企業支援への人的資源の適正配置等、今後の法人経営の基盤としてさらなる活用を期待したい。</u>	文章の意味を明確化するための修正
震災復興支援	さらに、 <u>都内および近隣他県の中小企業を対象とした節電・省エネルギーに関する技術支援や、都内中小企業の製品の放射線量測定、東京都との協定に基づく大気浮遊塵および空間線量率の放射線測定の活動も継続実施している。</u>	さらに、 <u>都内中小企業の製品の放射線量測定や、都内中小企業や被災地企業を対象とした節電・省エネルギーに関する技術支援、東京都との協定に基づく大気浮遊塵の放射線測定等の活動も継続して実施している。</u>	より適切な表現とするための修正 震災復興支援内容の詳細の明記等

## 2 項目別評価

項目	修正案	修正前（7月25日分科会）	修正理由
【項目1】 技術相談	(略)前年度を大幅に上回る相談実績を達成し、利用者からも97%の高い満足度を得ている。	(略)前年度を大幅に上回る相談実績を達成し、利用者満足度も97%の高い満足度を得ている。	文章の意味を明確化するための修正
	今後も、都市課題の解決や都民生活の向上に貢献されるよう、安全・安心、福祉分野などへの一層の対応強化が望まれる。	(略)今後も、都市課題の解決や都民生活の向上に貢献されるよう、安全・安心、福祉分野などへの一層の対応強化を図られたい。	確定した評価を踏まえた修正 (評価A)
【項目3】 機器利用	利用者からも9割が目的を達成したとの回答を得ており、質量ともに大変評価できる。	利用者からの目的達成度も9割が達成したと回答を得ており、質量ともに大変評価できる。	文章の意味を明確化するための修正
【項目4】 高度分析開発セクター	製品開発も放射性セシウム汚染土壌保管容器の開発など約500件の実績を上げている。また、利用の多い機器についてライセンス専用機器を導入するなど、的確な対応を図っており、高く評価できる。	製品開発も放射性セシウム汚染土壌保管容器の開発など約500件の実績を上げており、大いに評価できる。また、利用の多い機器についてライセンス専用機器を導入するなど、的確な対応を図っていることも評価できる。	確定した評価を踏まえた修正 (評価A)
	今後も、研究員の高度な分析能力の更なる向上を図るとともに、機器についてもオーダーメイド開発支援など、高度な支援へのより一層の活用を期待する。	今後も整備された高度な機器を活用し、オーダーメイド開発支援などの事業により中小企業支援の拡充に努められたい。	前回分科会の意見を反映した修正
【項目5】 システムデザインセクター	高速造形機は世界的に急速に注目度が高まっていることから、今後も、国内における先駆者として、これまでの知識と経験のなお一層の有効活用に期待する。	今後は、これまでの知識と経験について、なお一層の有効活用に努められたい。	前回分科会の意見を反映した修正
【項目6】 オーダーメイド開発支援	今後、ユーザーニーズの把握やその対策を着実に実施することにより、さらなる利用者満足度の向上が望まれる。	なお、利用者の目的達成度において、平成24年度14%の企業からわずかしこ達成できなかったとの回答になっている。回答数が少ないため一概には評価できないが、今後、原因のフォローと対策に努められたい。	より適切な表現とするための修正
【項目7】 製品開発支援ラボ、共同研究開発室	(略)都産技研事業を有効に活用し、ラボ入居企業の支援を期待する。	(略)都産技研事業を有効に活用し、ラボ入居企業の支援に努められたい。	確定した評価を踏まえた修正 (評価A)
	—	(なお、ラボ入居企業が必要とする設備と、ラボ設備の整合については、引き続き検証を行われたい。) ※ 前回分科会での意見	事実確認により修正しない ラボ施設と入居企業が必要とする設備の整合について確認が取れたため。
【項目8】 実証試験セクター	また、製品開発も約500件あり、中小企業支援に役立っているものと評価できる。今後も、こうした、より高度な機器の活用を大いに期待する。	また、製品開発も約500件と多数あり、中小企業の製品開発に大いに役立っているものと評価できる。	前回分科会の意見を反映した修正
【項目9】 中小企業振興公社等との連携、知的財産総合センターとの連携	(略)連携は年度計画を順調に実施されているものと認められる。中小企業が成長・発展していくためには、技術的課題解決に加え、自らの「技術力」を意識的に活用していく必要がある。当該事業の更なる活性化に向け、東京都中小企業振興公社等経営支援機関と一層連携し、新たな事業展開等を期待する。	(略)連携は順調に実施されているものと認められる。今後も、更なる連携の拡大に努められたい。	前回分科会の意見を反映した修正
【項目10】 特許出願及び使用許諾	必要性や可能性があれば知的財産を出願する体制が根付きつつあり、共同研究先との特許出願が増加するなどの実績が認められる。特許等出願件数は、前年度とほぼ同数の実績を確保しており、年度計画を順調に実施しているものと認められる。	必要性や可能性があれば知的財産を出願する体制が根付きつつあり、前年度とほぼ同数の実績を確保している。共同研究成果に基づく共同出願の件数が着実に増加しており、年度計画を順調に実施しているものと認められる。	前回分科会の意見を反映した修正

項目	修正案	修正前（7月25日分科会）	修正理由
【項目12】 技術審査への貢献	技術的内容の審査にとどまらず、受託機関の審査部門の業務改善に貢献し、公的機関としての役割も果たしており、年度計画を順調に実施していると認められる。	また、技術的な内容審査にとどまらず、受託機関の審査部門業務改善に対しても貢献するなど、公的機関としての役割を十分果たしていると認められる。	確定した評価を踏まえた修正 (評価B)
【項目13】 東京イノベーションハブの活用、マッチングの場の提供	今後も、引き続き東京イノベーションハブを積極的に活用し、マッチング成果を上げることを期待する。	今後も、引き続き東京イノベーションハブを積極的に活用し、マッチング成果を上げてもらいたい。	文章の意味を明確化するための修正
【項目14】 コーディネータによるマッチング、異業種・業種別交流会、技術研究会の支援又は開催	産学公連携コーディネーターによる連携相談に <u>着実に</u> 対応し、前年度と同程度の成約実績を上げている。	産学公連携コーディネーターによる連携相談を <u>着実に</u> 実施し、前年度と同程度の成約実績を上げている。	文章の意味を明確化するための修正
【項目15】 行政及び他の支援機関との連携による支援	(略)地道ながら着実に実施されており、いずれの活動も高く評価できる。 今後も、 <u>区市町村等との連携協定を積極的に活用し、中小企業のビジネスチャンス創出などの成果につなげることを期待する。</u>	(略)地道ながら着実に実施されており、いずれも活動も高く評価できる。 今後も、 <u>これらの連携協定を積極的に活用し、中小企業のビジネスチャンス創出などの成果につなげることを期待する。</u>	文章の意味を明確化するための修正
【項目16】 基盤研究	基盤研究は、 <u>共同研究・外部資金導入研究等への発展や、特許出願などに結び付いており、高く評価できる。</u>	基盤研究の <u>成果展開も、共同研究・外部資金導入研究等への発展や、特許出願などに結び付いており、高く評価できる。</u>	文章の意味を明確化するための修正
	中小企業支援事業の実績が大幅に伸びている中で、 <u>基幹事業の一つである研究活動について、人的資源や資金をより投入することで、研究事業のさらなる活性化や研究機関としての都産技研の地位をより一層高められることを期待する。</u>	<u>一方で、中小企業支援事業の実績が大幅に伸びている中で、基幹事業の一つである研究活動について、いかに人的資源や資金を投入して活性化させ、研究機関としての都産技研の地位を高めるかという視点での、根源的な改革の必要性を感じる。</u>	確定した評価を踏まえた修正 (評価A)
【項目17】 共同研究	また、共同研究成果の普及活動、共同研究による製品化・事業化並びに知財の獲得なども順調に実施しており、 <u>高く</u> 評価できる。	また、共同研究成果の普及活動、共同研究による製品化・事業化並びに知財の獲得なども順調に実施しており、 <u>大いに</u> 評価できる。	確定した評価を踏まえた修正 (評価A)
【項目20】 関係機関との連携による人材育成	今後も、大学、学術団体等への講師派遣を積極的に行うとともに、 <u>学生の受入れにおいても、学術的な教育や、ものづくりに興味を持った人材の育成につながる取組を引き続き行うなど、なお一層の人材育成に寄与されることを期待する。</u>	今後も、大学、学術団体等への講師派遣を積極的に行うとともに、 <u>学生の受入れに当たっては、学術的な教育のみならず、ものづくりに興味を持った人材の育成につながる工夫などを行い、なお一層の人材育成に寄与されることを期待する。</u>	事実確認による回答を踏まえた修正
【項目21】 情報発信・情報提供	その結果、認知度も平成20年度調査結果から向上しており評価できるが、(略)	その結果、認知度も平成20年度調査結果から向上しており <u>高く</u> 評価できるが、(略)	前回分科会の意見を反映した修正
	今後とも、 <u>展示会の来場者情報の分析結果を活用し、都産技研の新たな利用につなげるなど、出展効果をより高める取組の継続に期待する。</u>	今後は、 <u>展示会の来場者情報をより詳細に分析し、都産技研の利用につなげるなど、出展効果を高める更なる工夫も期待したい。</u>	事実確認による回答を踏まえた修正
【項目22】 組織体制及び運営	人員に限りがある中で、 <u>依頼試験等、過去最高の中小企業支援の実績を上げたことは、理事長以下の適時適切なマネジメントがあったものと高く評価できる。</u>	人員に限りがある中で、 <u>過去最高の依頼試験への対応など、頭書の活動を実施してきたことは、理事長以下の適時適切なマネジメントがあったものと高く評価できる。</u>	文章の意味を明確化するための修正
	<u>事業別セグメント管理については、研究事業や直接的な中小企業支援への人的資源のより効果的な配分等、今後の法人経営の基盤としてさらなる活用を期待する。</u>	<u>しかし、業務時間分析の結果判明した中小企業支援業務の割合の急増には、事業別セグメント情報を有効活用し、事業に対する人的資源の適正配置に努められたい。</u>	文章の意味を明確化するための修正
【項目23】 業務運営の効率化と経費削減・財務内容の改善に関する事項	平成24年度も <u>新たに小集団活動を開始するなど、業務改善の推進に関する取組は継続的に行われており、年度計画を順調に実施しているものと認められる。</u>	平成24年度も業務改善の推進に関する取組は継続的に行われており、年度計画を順調に実施しているものと認められる。	より適切な表現とするための修正